

設計品質を劇的に向上させるための

# 実践！モジュラー設計 新規図面をゼロにして、 設計の精度・効率を向上させる技術

LIVE配信  
アーカイブ配信

7日間視聴可能

★日時：2026年4月17日（金）10:00～17:00

★会場：WEB受講のみ（Zoomシステム）

※LIVE配信／アーカイブ配信（7日間視聴可能）

★受講料：1名 49,500円（消費税込）

同一セミナー同一企業同時複数人数申込みの場合 1名44,000円

★受講資料：製本テキスト（受講料に含む）

※別途テキストの送付先1件につき、送料1,210円（内税）

製品に求められる機能の抽出方法、モジュール化（図面を適切に流用できる仕組み）、モジュール化を運用する仕組みについて、事例や演習を踏まえながら分かりやすく解説する特別セミナー！！

【講師の言葉】 現在の設計方法は流用設計が基本です（過去の製品を流用し、カスタマイズ設計を流用設計と呼びます）。この流用設計には正しい流用ルールが無い場合、設計者毎に派生製品が生まれてしまいます。この派生製品を流用する際に、元の製品が何で、そこからどのような機能が追加されているか分からないにもかかわらず（カスタマイズの背景が図面だけでは読み取れない）、流用してしまい、本来不要であった設計変更が多く発生しています。

この本来不要であった設計変更は、設計のリードタイムが長くなるだけでなく、品質不良や目標原価の未達など多くの問題点に繋がってしまうでしょう。派生製品が生まれないように、標準製品をお客様のさまざまなニーズに対応できるようモジュール化し、アセンブリや部品のバリエーションを変更するだけで、設計が完了可能なよう仕組みを構築していく必要があります。

さらに設計者は標準にはない新しい機能の設計に注力することにより、設計品質を向上させ、お客様に付加価値の高い製品の提供を可能とします。可能な限り過去の図面を適切に流用できる仕組み＝モジュラー設計を実践していきましょう。

【受講形式】 WEB受講のみ ※本セミナーは、Zoomシステムを利用したオンライン配信となります。

【予備知識】 現在の設計手法を理解していれば特に予備知識は必要ありません

【受講対象】 ・業 種：製造業全般  
・所 属：設計者、生産技術者（設備設計など）  
・レベル：中堅からベテランまで

【習得知識】 1) 製品に求められる機能の抽出方法  
2) モジュール化の方法  
3) モジュール化を運用する仕組み など

【進呈】 講師著書

『実践！モジュラー設計 新規図面をゼロにして、  
設計の精度・効率を向上させる』  
（日刊工業新聞社）を進呈します



【講師】 株式会社A&Mコンサルト 代表取締役社長 中山 聡史 先生

元トヨタ自動車株式会社 エンジン設計・開発、品質管理、環境対応業務を経て現在に至る

## 1. 間違った設計手法により発生する問題

- 1) 間違った流用設計
  - (1) 流用モデルと派生モデル
  - (2) 間違ったモジュールの考え方
  - (3) 受注生産と標準化
- 2) バックローディング
- 3) 個人演習① 問題点の洗い出し  
～設計起因で発生した不具合を抽出しよう～

## 2. あるべき設計開発プロセス

- 1) フロントローディング
- 2) システム設計開発プロセス
- 3) モジュールの考え方

## 3. モジュラー設計手法

- 1) モジュール化の基本概念
- 2) モジュール化のメリットとデメリット
- 3) モジュール化の時代の変遷と現在の考え方  
個人演習②：設計開発プロセスの問題点  
～現状の設計プロセスの問題点を抽出しよう！～
- 4) モジュール化の事例紹介  
～自動車のモジュールの構成と構築の考え方
- 5) モジュール化の構築方法
  - (1) 機能階層
  - (2) モジュール区分
  - (3) 設計ルール設定

## 4. モジュール化の運用プロセス

## 5. 個人演習③、④モジュール化を実践しよう！

～ミニ四駆を機能階層、モジュール化区分を考えてみよう！～

質疑・応答

【受講者の声】 ・事例を交えてのご講演をいただいたことで、自身の業務でのイメージが行いやすく、理解が進みました。

・当社現状の開発フローに対する課題と、具体的な是正案をいただけたので、改善に尽力しようと思えます。ご講義ありがとうございました。

・設計部門だけでなく、特にDRに関わる他の部門の方にもぜひ受けていただきたい内容でした。

・大変勉強になる内容でした。講師の説明も分かりやすかったです。

・分かりやすい内容でした。トヨタの事例も参考になりました。

### ◆セミナーお申込要領

・弊社ホームページの申込欄又は、E-mailかFAXにてお申し込みください。

・受付後、受講票・請求書等をメールで送信します。

・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

### ◆申込書：2026年4月17日：セミナー

会社名： 部署名：

住所：

TEL： FAX：

氏名：

Email：

### ◆申込先



TH企画セミナーセンター



株式会社TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル5F

TEL: 03-6435-1138

FAX: 03-6435-3685

Email: [th@thplan.com](mailto:th@thplan.com)

URL: <https://www.thplan.com/>

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

検索

TH企画



サイト内  
キーワード検索

0417  
(開催日)